

がん放射線治療 看護セミナー

第 11 回テーマ：頭頸部への化学放射線療法を受ける患者の看護

- 開催日程 : 2010 年 10 月 2 日(土)
開催場所 : 東京 コクヨホール
募集方法 : 日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。
日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス : <http://www.jastro.jp/>
募集人数 : 200 名
参加費 : 5,000 円 (日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員)
8,000 円 (非会員)

はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで多くの患者にとって重要な役割を担っている。しかし、放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が適切なタイミングにわかりやすい言葉で知識不足や誤解を解消し生活に即した指導を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。これらの有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線腫瘍医や診療放射線技師など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。医療者が患者を中心とした円滑なコミュニケーションを図るために、看護師は重要な役割を担っている。

このようなことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

第 11 回セミナー開催にあたって

第 1 回及び第 2 回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第 3 回からは参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」「子宮頸がん」「前立腺がん」「乳がん」「胸部」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。

今回、テーマとして取り上げる「頭頸部への化学放射線治療」も参加者アンケートの上位項目から決定した。化学放射線療法は、その効果の面から適応は増加傾向にある。一方で単独治療に比べて強い有害事象が出現することも多く、看護の果たす役割は大きい。本セミナーでは、患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な頭頸部への化学放射線療法についての知識と情報を提供する。

セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

第 11 回セミナーの到達目標

- 1) 頭頸部への化学放射線療法の特徴、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識を理解する。
- 2) 頭頸部への放射線治療を受ける患者が抱える問題を理解し、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

セミナーの構成

- 1) 化学放射線療法に関する基礎知識、疾患の病態や治療法、看護ケアについて概説する。最後のセッションでは参加者に提示してもらった症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。
- 2) 最後のセッションの実施にあたり「頭頸部への化学放射線療法」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

カリキュラム

時間	内容	講師	備考
～9:25	Information	総合司会；午前) 国立病院機構東京医療センター 放射線科 萬 篤憲医師	
9:25～9:30	開会の辞	山形大学放射線腫瘍学分野教授 日本放射線腫瘍学会理事 根本建二理事	5 分
9:30～10:40	1. 頭頸部腫瘍とその治療 治療に必要な頭頸部の解剖学等基礎的知識と疾患の特徴、治療方法について化学放射線療法の対象となる部位を中心に解説。	国立病院機構東京医療センター 耳鼻咽喉科 藤井正人医師	70 分
10:40～10:50	休憩		10 分
10:50～12:00	2. 頭頸部への化学放射線療法の原理と実際 化学放射線療法の効果のメカニズム、治療の実際、治療選択のポイント、有害事象について分子～人体レベルで解説。	国立がん研究センター東病院 放射線部放射線治療室・粒子線 医学開発部 河島光彦医師	70 分
12:00～13:00	昼食		60 分
		総合司会；午後) 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 末國千恵看護師	
13:00～14:10	3. 頭頸部腫瘍治療時の痛みと副作用マネジメント 強い粘膜炎症状が予測される頭頸部の化学放射線療法において、効果的・効率的な痛みと副作用に関する積極的な対応について説明する。	国立がん研究センター東病院 粒子線医学開発部 全田貞幹医師	70 分
14:10～14:20	休憩		10 分
14:20～15:30	4. 頭頸部への化学放射線療法を受ける患者のケア 患者の心理・社会的状態、不安を軽減するために効果的な看護オリエンテーション、頭頸部の化学放射線療法の有害事象症状の予防とアセスメント、出現した症状への看護ケアを具体的に解説する。	癌研有明病院 後藤志保看護師	70 分
15:30～15:40	休憩		10 分
15:40～16:50	ディスカッション・質疑応答 患者の看護問題とその解決へのアプローチについて、参加者から回収した症例と質問を中心に講師と受講者でディスカッションする。	(司会) 国立病院機構東京医療センター 立石久留美看護師長 (回答) 本日の講師および 東京都立府中病院 放射線科 喜多みどり医師 北里大学 久米恵江がん看護専門看護師 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 角美奈子医師	70 分
16:50～16:55	閉会の辞		